

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	管理棟	階数	地上2F
建設地	座間市キャンパス座間内	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	85人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2019年4月5日
敷地面積	10,019 m ²	作成者	株式会社 創建エンジニアリング 一級建築士事務所
建築面積	1,129 m ²	確認日	2019年4月24日
延床面積	2,101 m ²	確認者	株式会社 創建エンジニアリング 一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記②以外のオンサイト手法 77%
④上記④オフサイト手法 77%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 米国基準と日本国基準を順守したダブルスタンダードの計画。	その他	
Q1 室内環境 中央管理方式の場合: 30m ³ /h人以上。	Q2 サービス性能 耐久性の高い配管を使用する、階高4.8mを確保している。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー BEIm=0.68, LED照明を導入。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加えて節水型便器を採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率77%、燃焼機器の採用無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される